



会報

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

鶴岡ロータリー

第 435 号

1968.1.16(火) 雪



松田 東一 君

次週は 嶺岸 光吉 君

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
② 0707.2838
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ② 5775

ロータリアンとしてのあなたの
資格を効果的に

Make Your Rotary
membership effective

10月	地区別 出席順位	65ク クラブ	52位	会員 62名	出席率 83.47%	前月 52 順位
-----	-------------	------------	-----	-----------	---------------	----------------

出席報告

本日の出席 会員数 60名
出席数 40名
出席率 66.67%

欠席者 者松田君、小池君、早坂君、
長谷川君、千葉君、荒明君、
安藤君、五十嵐(八)君、金井
君、笹原君、齋藤(信)君、大
野君、三井(健)君、嶺岸君、
佐藤(伊)君、佐藤(寅)君、菅
原君、辻君、藪田君、今野君

前回の出席 前回出席率 78.33%
修正出席数 57名
確定出席率 95.00%

メークアップ 阿部(公)君、齋藤(信)君、千
葉君、鷺田君、早坂君、鈴木
(昭)君、石黒君、五十嵐(伊)
君、三井(徹)君一鶴岡西 R C
林君一東京銀座 R C

ビジター 本間謙三君一本荘 R C
原田行雄君、五十嵐正雄君、栗本
敏直君、佐藤拓君一鶴岡西 R C

ソング 我等の生業 リーダー 三井(健)君

司 会 会長 齋藤得四郎君

卓 話 昭和43年の経済見越し

池内方平君

明治百年の新春を迎えた元旦、アメリカの
ジョンソン大統領はテキサス州ジョンソン牧
場で記者会見し「国際収支に関し国民へのメ
ッセージ」と題する強力なるドル防衛対策を
発表した。

その中でジョンソン大統領は「米国民は自
由世界への責任を果たしドルの力を守るため
国際収支の改善に全力を挙げる」と述べたあ
と、対外投融資の直接規制を軸とした種々の
措置により年間30億ドルの国際収支の改善を
見込み、現行ドル価値維持の決意を表明して
いる。

その後間もなく國務次官のロストウを日本
に派遣し吾国の協力を要請している。引続い
て英国の外相ブラウンが来日している。斯の
如く昨年11月19日英国がポンドの14.3%切下

会報はご家族みんなまでよみましょう

げを実施してより各国に大きな反響を呼び吾国の株式市場は67円の暴落をした。之に対し世界の主要国は同時に公定歩合の引上げを発表した。米国は4%から4.5%へ、カナダは5%から6%へ、日本は昨年10月1日より1厘引上げ1.6銭として居たので直ぐには上げなかったが今年1月6日に再引上げ、1厘をして1.7銭とした。斯の如く世界の主要国は相次いで公定歩合の引上げを実施したので世界的黄金時代を招来した訳で世界中がデフレ政策に踏切ったのである。

今度の英国の米価切下げは14.3%で1ポンドが2ドル80セントであったものが、2ドル40セントに切下げ、公定歩合を8%に引上げたと言うことは7%さえ危機レートと云われて居たレートを1%上廻って実施したことは容易ならざる事態であることを意味する。

英国のポンドの切下げは今度が始めてではなく、既に3回目である。第1回目は1931年第2回目は1949年にアトリー労働党内閣の下に30%切下げをやっている。第3回目が今度で丁度第2回目から18年目に当り、第2回目の場合も第1回目から18年目に第2回目の切下げをやっているので英国の経済力の低下は既に長期に亘って下降線をたどって居たことを意味する。

第1次、第2次世界大戦で戦勝国側にあった英国の経済が斯の如く低下する原因は、特に第2次世界大戦後甚しいのはかって太陽の没することのない大国であった大英帝国が急に弱体化した原因は丁度敗戦後の日本が農地開放により昔の地主階級が其後没落の道を進んだ如く大英帝国も第2次大戦後の民族独立運動によりかっての植民地は大方独立して英国の權威は次第に失われたことは見逃すべからざる原因であるが、一方植民地よりの収入に依って生活して居た英国が斯の如くみじめな立場に追込まれたのは、チャーチル保守党政権の13年の失政によると現ウイルソン労働党政府はその責任を転化して居る。

一方保守党はウイルソン政権の無能を非難し、又経営者は労働組合の非協力、ヤマネコストを責め、又労働者は経営者の非能力、怠慢を罵るといった罪を互に押しつけ合う無責任な態度が一般化しており、国民的愛国心が薄いこと、古い階級社会、強大なる労働組合、徹底した福祉国家というさまざまな要素がからみ合う生産性の低さと云う体質は国

民的自党の弱体による処が大きいだけに英国の再建は将来に残された希望の薄い課題と云っても過言ではない。

ポンドの切下げを転期としてドルの不安は急に表面化した根本原因は米国の金の保有高が最近急速に低下して居ることにその原因がある。それを数字で示すと1949年の戦後初めてのポンドの切下げの時米国の全保有高は249億ドルと自由世界の全保有高の70%を占めていた。それが現在では130億ドルを下げている。

一方外国からのドル債務は200億ドルもあり、その中130億ドルは請求があれば直ぐ払わなければならない外国中央銀行などからの債務である。これまでポンドが一つの防壁になっていたが、今日ではドルに重荷が直接かかっているからである。

又E E C (欧州共同市場)が1958年に発足してから昨年まで10年間の発展を示す統計によると、E E C、6ヶ国が保有する金外貨準備は1958年の119.07億ドルから、1967年9月末現在211.07億ドルに増大し、金が金外貨準備に占める割合も58年の57%から67年は71.8%に上昇している。之に対し同期間に米国の金、外貨準備は205.82億ドルから142.77億ドルに減少している。英国の金、外貨準備も30.69億ドルから27.33億ドルに減少している

以上の数字から見ても、アメリカの金、外貨準備は急激に減少し国際通貨としてのドルの信用が低下しつつある現状はアメリカに取っては重大な問題である。而もアメリカはベトナム戦争の見透しもなく莫大なる戦費を調達しながらドル防衛に取り組みざるはめに追い込まれた処にアメリカの重大なる決意の意義がある。(次週へ続く)

幹事報告

○会報到着一村山、石巻東RC

○例会日、例会場変更

酒田東 1月7日 午後6.00 温海 泉荘

山形西 1月22日 午後5.00 中山 嘯月

高 畠 1月18日 午後5.00

山形銀行高畠支店

上 山 1月19日 午後3.30 菊屋 ホテル

○RI加盟承認ご挨拶

美濃加茂RC、徳山東RC

献 立 焼物—平目、刺身—大魚、
味噌汁—豆腐、ねぎ